

「深化する市民と野党の共闘」映し出した全国革新懇第38回総会 ～5月19日、第38回総会に47都道府県・賛同団体から221名が参加～



総会には市民連合の山口二郎法政大学教授が来賓あいさつ。「政治の劣化は前代未聞だ。政治を論じることにより無力感に陥らせるという“力を使わない言論抑圧”が起きている。おかしいことをおかしいと言い続けることで自由を守ろう。汚れた手で憲法を触らせないために奮闘しよう」と呼びかけました。

笠井貴美子代表世話人による「報告と提案」では安倍政権をやめさせることが中心の課題で、その実現の力は「市民と野党の共闘」にあるとそのため「本気の共闘」を求め参議院選挙の勝利に全力を挙げようと呼びかけました。「報告と提案」には「三つの力と二つの任務」が強調され、深化する市民と野党共闘、革新懇運動の方向性が整理されています。

特別発言では沖縄革新懇の宮城さんが沖縄での闘いは世界的な支持を受けていると報告し「翁長知事を先頭に、新基地反対の県民の意思は揺るがない」と決意を述べました。

共産党志位委員長は「国会共闘は新たな発展をしている。6野党の緊密な協力関係で成果をあげている。昨年の共闘破壊の策動を許さず共闘を守ったことが今に生きている」とし、当面する市民と野党の共闘の三つの闘いとして①9条改憲阻止②新潟知事選挙勝利③沖縄知事選挙勝利の奮闘を訴えました。また、来年の参議院選挙では野党共闘で豊かで魅力ある「共通政策」を練り上げ、政策対話と呼びかけ、共闘の勝利と共産党の勝利で野党連合政権への道を開くと発言しました。

大阪からは井筒百子世話人が発言。「豊中府議補選・地方選であらたな市民型選挙への挑戦が始まっている。その背景に市民連合と地元森友学園追及の奮闘がある」そして、大阪でのメディア・美術の分野別革新懇の活動と軍学での他団体との共同行動の前進を報告し、「同作業は革新懇の三つの力、政策の力、組織の力、草の根の力を発揮し、様々な分野での統一戦線運動の推進力の役割を担っている。」と発言しました。前日に開催された全国事務局長会議では、服部事務局長が「北東アジア・朝鮮半島課題を3目標のひとつとしてシンポを準備して、すでに共感が広がっている」「一斉地方選挙で維新府議落選させる共同もところによりあり得るが、全国的にも重要ではないか」「7項目合意政策の突き出しで立憲野党共闘の魅力をもっと打ち出したい」などと発言しました。

総会での各地方・地域の革新懇からの発言は、小選挙区での市民連合で野党統一候補づくりの奮闘、希望の党に行かさない運動、政策活動を重視した活動の積み重ねと当選統一候補との定例協議など、自信に満ちたものでした。全商連の代表は「市民と野党共闘の実践内容・水準を聞いてビックリした。全商連大会方針にも革新懇の大事さを書き入れた」と発言し、参加者からも大きな拍手がありました。

総会では20名が発言し、新潟出身の五十嵐仁から6月10日投票の新潟知事選挙で野党統一候補の池田ちかこ氏の勝利をめざす特別決議が提案され、採択されました。また、鯉坂真代表世話人の勇退（世話人としては留任）にともない、新代表世話人に渡辺武さん（大阪革新懇代表世話人・元大阪城天守閣館長）が大阪として選出されました。

賛同団体・地域革新懇の合同会議ご案内

テーマ：全国革新懇総会報告と大阪の運動と組織課題

日時 6月20日（水曜日）午後1時30分より4時までに終了予定

場所 大阪国労会館1階ホール（JR環状線「天満」駅、地下鉄「扇町」駅下車）

課題 * 全国革新懇総会報告と大阪の運動と組織課題

* この間の地域革新懇活動の交流（3000万署名・市民アクション・市民連合など）

* 賛同団体からの報告や提案など